

# コンゴの紛争資源問題と性暴力のつながり

## 華井和代氏



(東京大学未来ビジョン研究センター 講師)

第18回 11月14日(木) 13:00~14:30  
@ 津田塾大学特別教室

### 担当者から一言

みなさんは、コンゴと言うと、何を思い浮かべるでしょうか。タイトルの紛争資源問題と性暴力は一見繋がりがなさそうですが、実は日本の私達の生活にも関わっています。この講演を聞き、これらの問題に自分たちの生活がどのように関わっているのか、世界の問題を考え直してみませんか？

筑波大学人文学類卒(歴史学)、同大学院教育研究科修士課程修了(教育修士)。成城学園中学校高等学校での教師を経て、東京大学公共政策大学院専門職学位課程修了(国際公共政策学修士)、同大学院新領域創成科学研究科博士課程修了(国際協力学博士)。東京大学公共政策大学院特任助教を経て2018年4月より現職。コンゴの紛争資源問題と日本の消費者市民社会のつながりを研究し、任意団体「コンゴの性暴力と紛争を考える会(ASVCC)」の副代表を務める。同時に、元高校教師の経験を生かして平和教育教材を開発・実践している。主著は『資源問題の正義—コンゴの紛争資源問題と消費者の責任』(東信堂、2016年)。

\* \* \* 講演前の参考に！ \* \* \*

- ・ コンゴの性暴力と紛争を考える会HP <https://congomm2016.wixsite.com/asvcc>
- ・ 華井和代著『資源問題の正義—コンゴの紛争資源問題と消費者の責任』東信堂、2016年
- ・ デニ・ムクウェゲ、ベッティル・オーケルンド著（加藤かおり訳）『すべては救済のために デニ・ムクウェゲ自伝』あすなろ書房、2019年
- ・ ユナイテッドピープル配給『女を修理する男』  
ベルギー制作、2015年

公開講座 「総合2019」

井の中の私、大海を知る  
—先人たちも、もがいて成長した—